近世道状遺構の集成（７）

近世研究プロジェクトチーム

はじめに

本プロジェクトチームでは、2015 年度より近世道状遺構の集成を行っている。

県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は、秦野市に所在する不弓引遺跡（№.21・22）、鶴巻上ノ窪遺跡（№.25　上）、北矢名南蛇久保遺跡（№.25 下）、鉾ノ木遺跡（№.27）、小南遺跡（№.28）を取り上げる。

凡　例

・遺構名は報告書の記載に基づく。

・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。

・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。

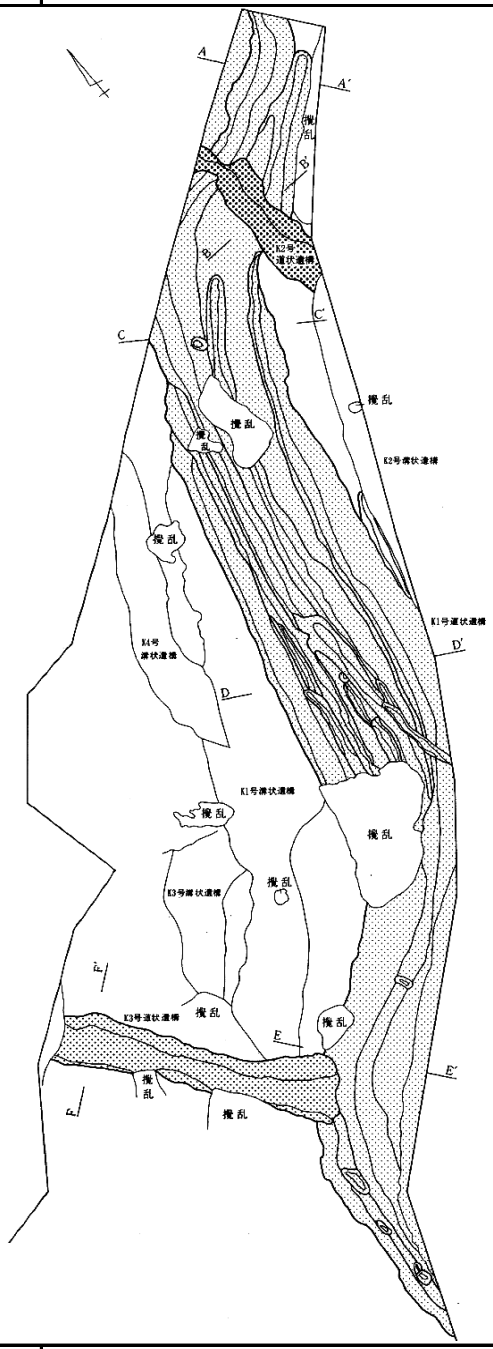
・所在地は現市町村名に変更した。

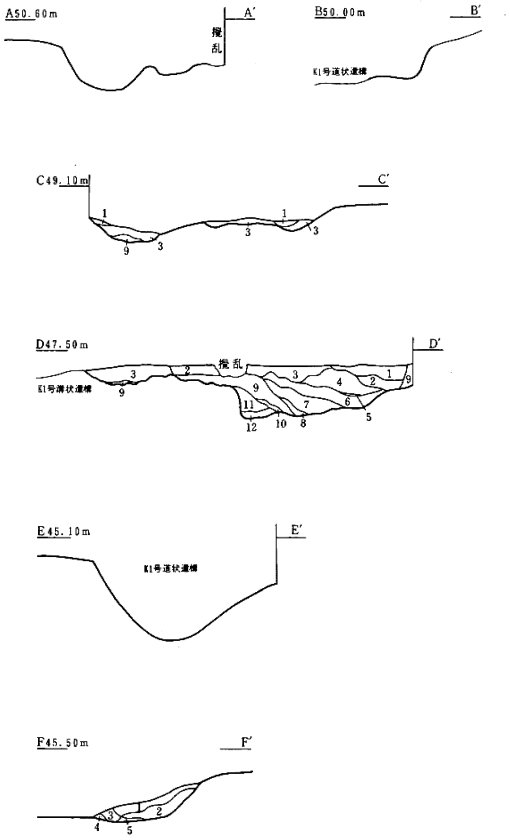
資料No.	遺跡名	遺構名	文献名
123	不弓引遺跡	Ｋ１号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
124	不弓引遺跡	Ｋ２号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
125	不弓引遺跡	Ｋ３号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
126	鶴巻上ノ窪遺跡	Ｋ１号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
127	北矢名南蛇久保遺跡	Ｋ１号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
128	北矢名南蛇久保遺跡	Ｋ２号道状遺構	1998年『不弓引遺跡（№.21・22）鶴巻大椿遺跡（№.23）鶴巻上ノ窪 遺跡（№.25上）北矢名南蛇久保遺跡（№.25下）北矢名矢際遺跡（№. 26)』かながわ考古学財団調査報告32
129	鉾ノ木遺跡	ＳＲ００１	1999年『鉾ノ木遺跡（№.27)』かながわ考古学財団調査報告54
130	鉾ノ木遺跡	ＳＲ００２	1999年『鉾ノ木遺跡（№.27)』かながわ考古学財団調査報告54
131	小南遺跡	Ｋ１号段切り	1997年『小南遺跡（№.28）東北久保・鳥居松遺跡（№.29)』かなが わ考古学財団調査報告23
132	小南遺跡	Ｋ１号道状遺構	1997年『小南遺跡（№.28）東北久保・鳥居松遺跡（№.29)』かなが わ考古学財団調査報告23
133	小南遺跡	Ｋ２号道状遺構	1997年『小南遺跡（№.28）東北久保・鳥居松遺跡（№.29)』かなが わ考古学財団調査報告23

資料No.	123	遺跡名	不弓引遺跡（№21・22）
所在地	秦野市鶴巻字不弓引		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道幅	1.0～4.3m		
年　代	18世紀～19世紀		
備　考	検出長約36m、溝状に掘り込まれた道、硬化面厚さ3～6cm、Ｋ２道に切られＫ３号を切る、17c～19c代の陶磁器出土		

資料No.	124	遺跡名	不弓引遺跡（№21・22）
所在地	秦野市鶴巻字不弓引		
遺構名	Ｋ２号道状遺構		
道幅	0.4 ～1.1m		
年　代	19世紀以降		
備　考	検出長約4.6m、溝状に掘り込まれた道、Ｋ１道を切る、17c代の陶器出土		

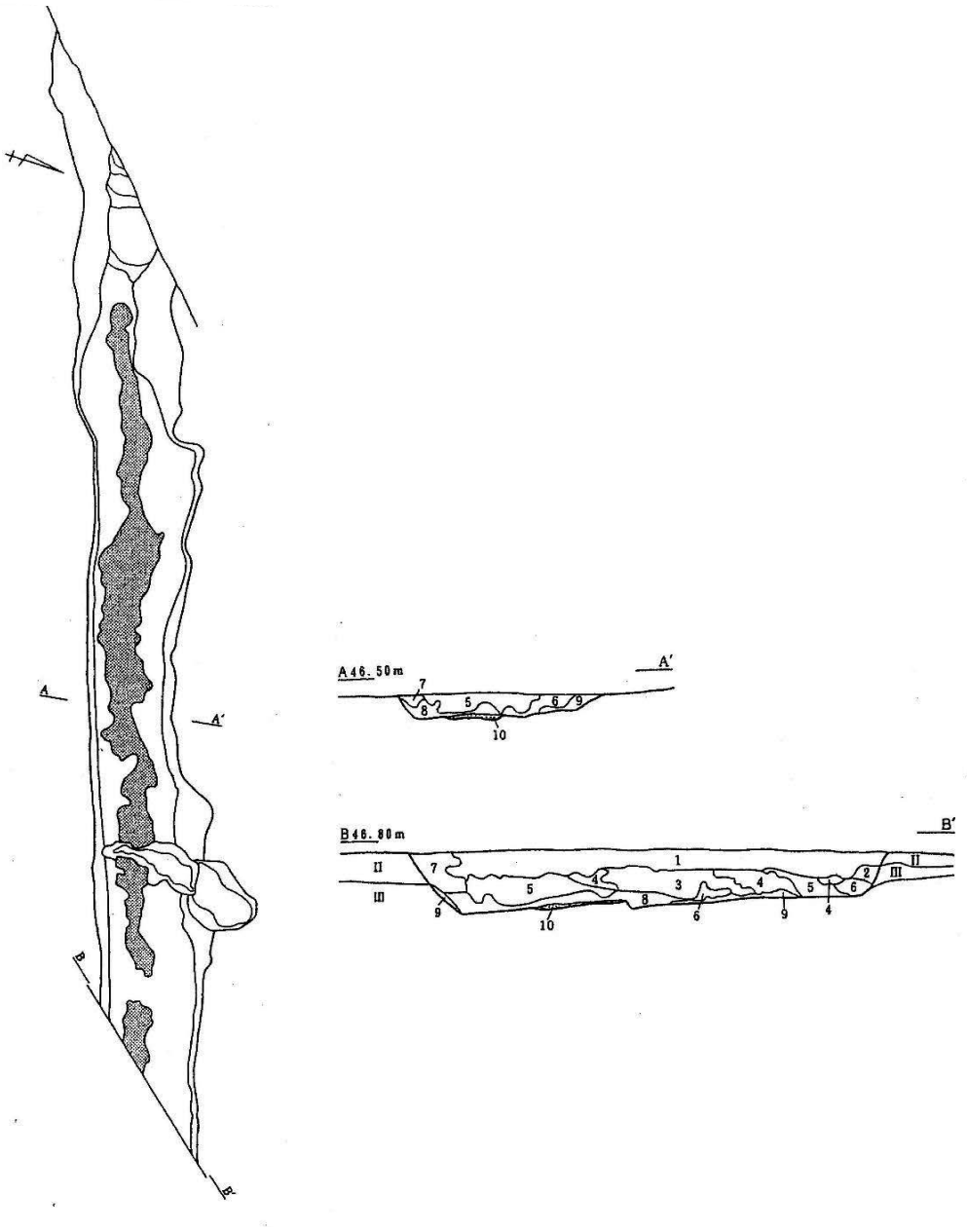
資料No.	125	遺跡名	不弓引遺跡（№21・22）
所在地	秦野市鶴巻字不弓引		
遺構名	Ｋ３号道状遺構		
道幅	0.4～1.0m		
年　代	宝永山噴火以前		
備　考	検出長約7.4m、溝状に掘り込まれた道、Ｋ１道に切られる		





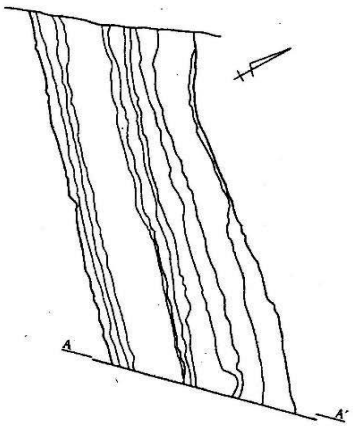
縮　尺	（平面図）1/200、（断面図）1/100

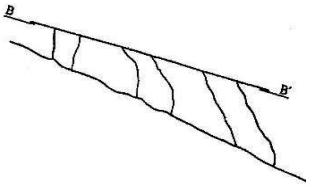
資料No.	126	遺跡名	鶴巻上ノ窪遺跡（№25上）
所在地	秦野市鶴巻字新野		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道 幅	0.3～1.1m		
年 代	18世紀		
備 考	検出長約16m、溝状に掘り込まれた道、硬化面厚さ3㎝、17c後半～18c代の陶磁器出土		

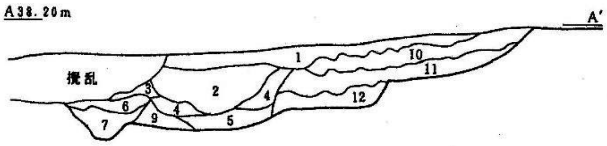


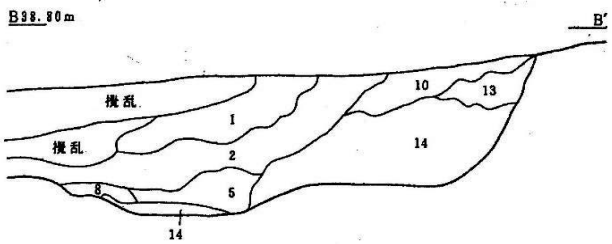
縮 尺	（平面図）1/150、（断面図）1/60

資料No.	127	遺跡名	北矢名南蛇久保遺跡（№25下）
所在地	秦野市鶴巻字新野		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道 幅	0.8～1.0m		
年 代	18世紀		
備 考	検出長西側約7.8m・東側約1.8m、溝状に掘り込まれた道、南側に側溝と考えられる幅0.4～0.6m・深さ0.2mほどの溝あり、18c代の陶磁器出土		



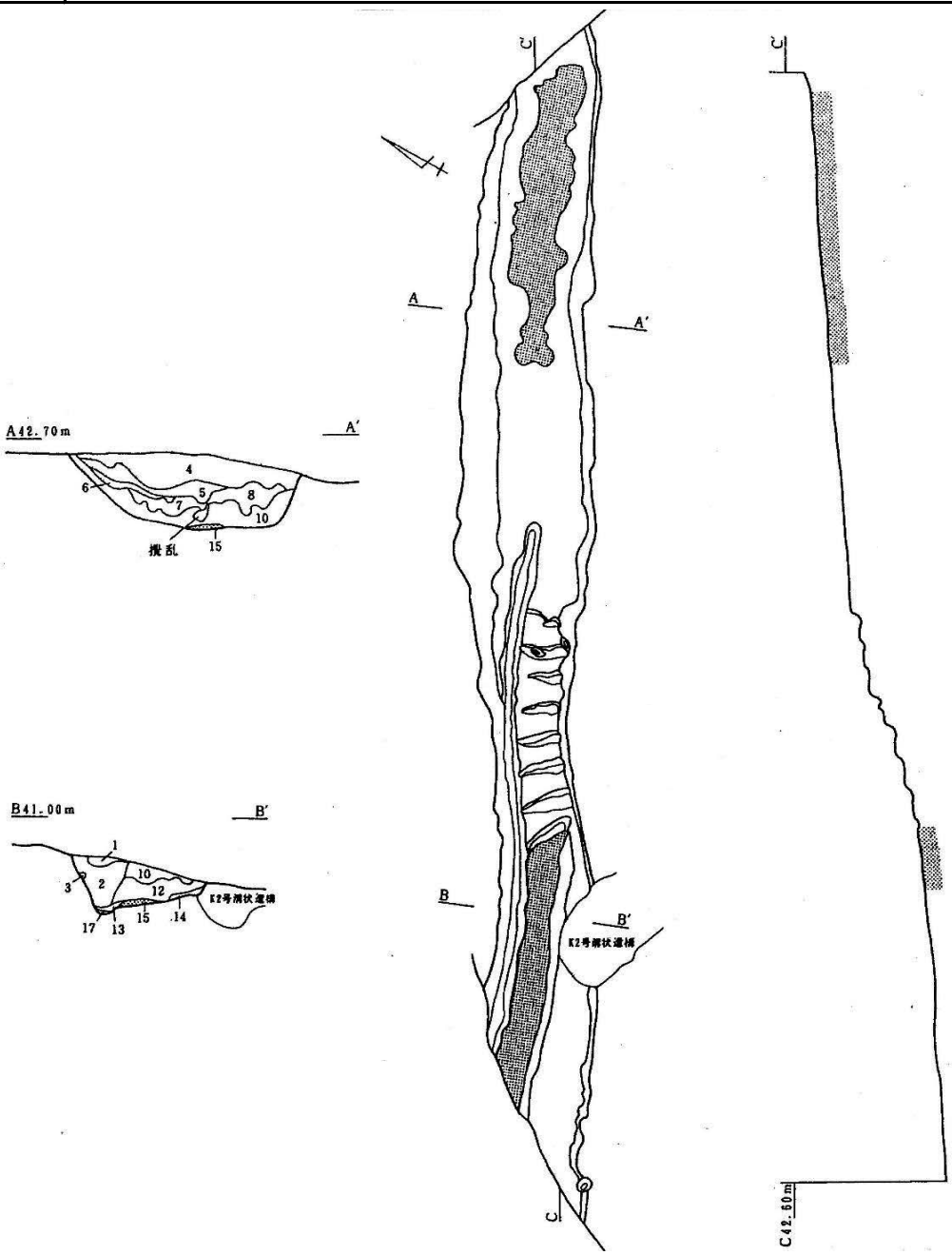






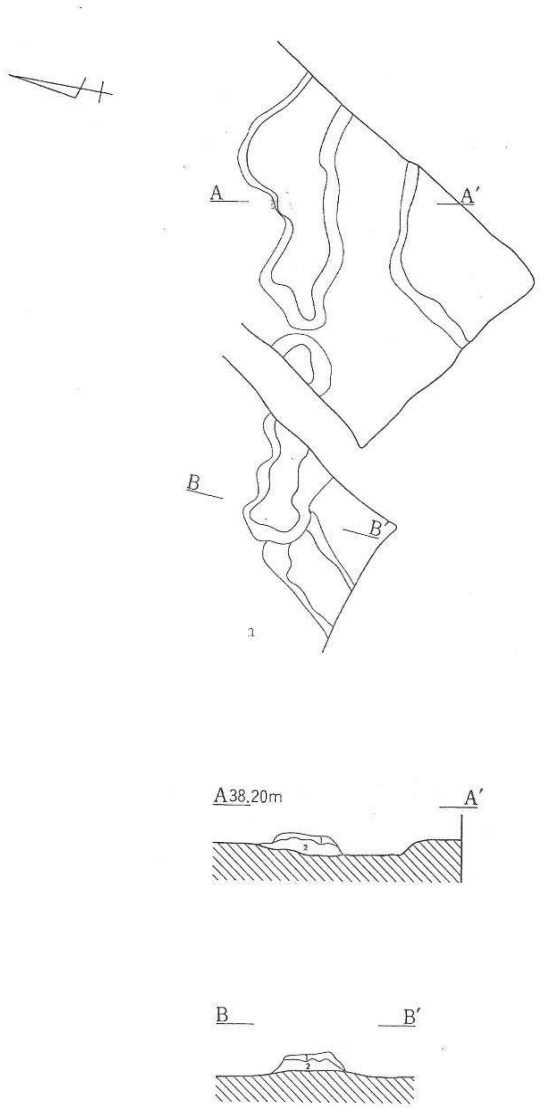
縮 尺	（平面図）1/150、（断面図）1/60

資料No.	128	遺跡名	北矢名南蛇久保（№25下）
所在地	秦野市鶴巻字新野		
遺構名	Ｋ２号道状遺構		
道 幅	1.0～1.5m		
年 代	19世紀		
備 考	検出長約18.5m、溝状に掘り込まれた道、北壁際に側溝と思われる溝、段切り部分に階段状の施設、硬化面は幅0.6～0.9m・厚さ4～6cmを測る、17c～19c代の陶磁器出土		



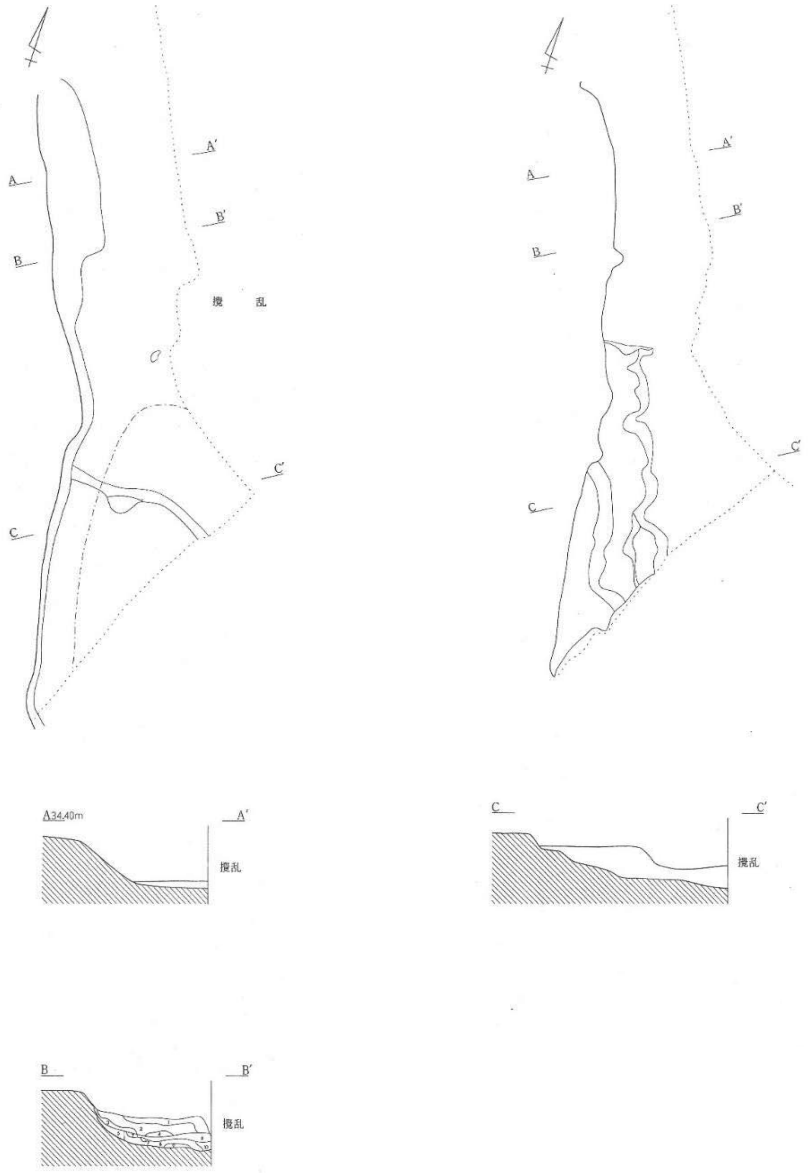
縮 尺	（平面図）1/150、（断面図）1/60

資料No.	129	遺跡名	鉾ノ木遺跡（No.27）
所在地	秦野市北矢名字田中		
遺構名	ＳＲ００１		
道 幅	最大幅0.8m		
年 代			
備 考	検出長3.65m、硬化面1枚、南西先に位置する井戸との関連が考えられる		



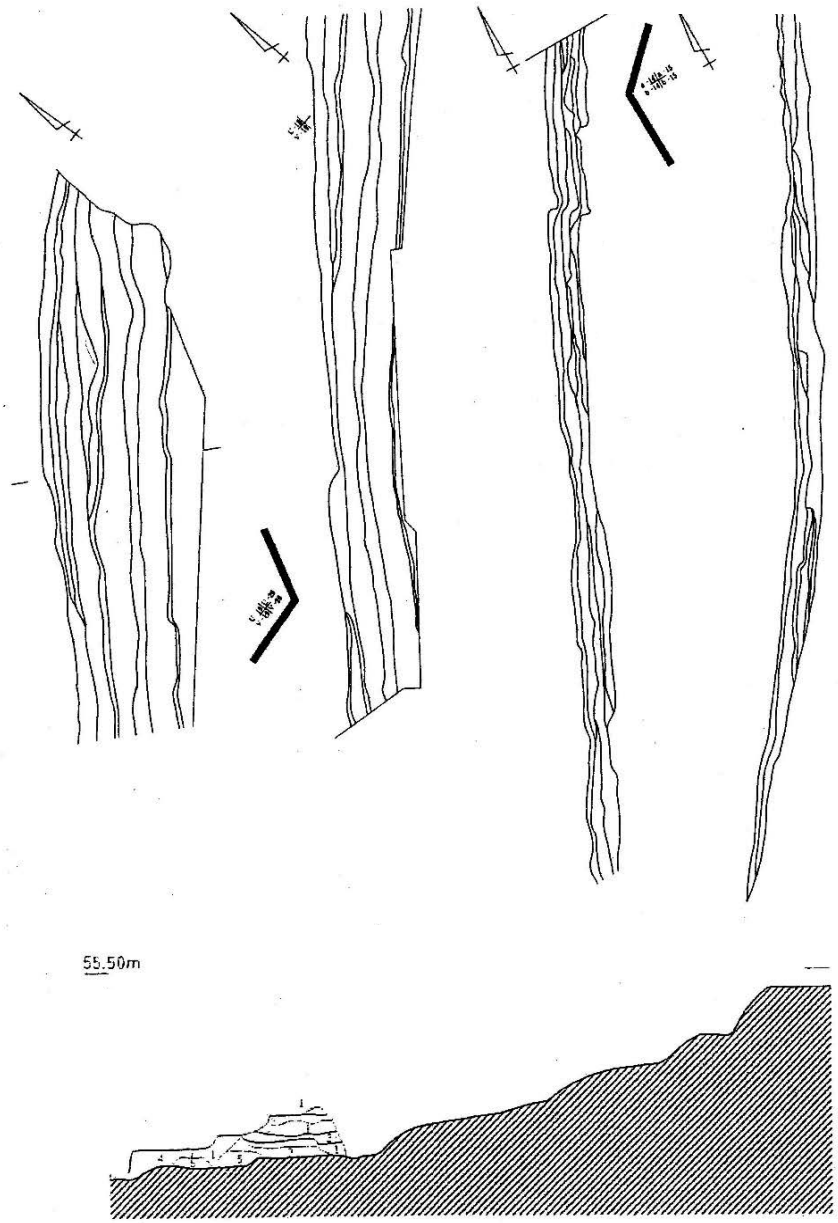
縮 尺	（平面図）1/60、（断面図）1/60

資料No.	130	遺跡名	鉾ノ木遺跡（№27）
所在地	秦野市北矢名字田中		
遺構名	ＳＲ００２		
道 幅	最大幅2.1m		
年 代			
備 考	検出長8.5m、硬化面1枚、平坦部から斜面部へ落ちた際を段切りし構築されている		



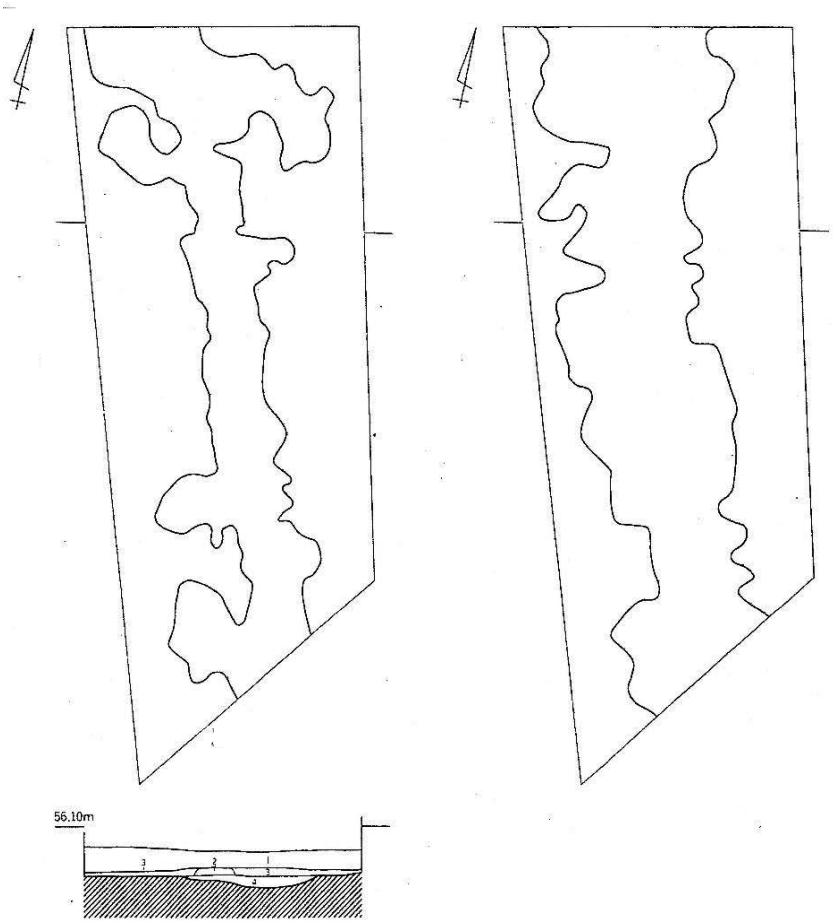
縮 尺	（平面図）1/100、（断面図）1/100

資料No.	131	遺跡名	小南（№28）
所在地	秦野市南矢名字小南上		
遺構名	Ｋ１号段切り		
道 幅	0.23～1.0m		
年 代	17～18世紀代		
備 考	検出長121m、硬化面は3面、道として機能していた時期あり、17～18世紀代を主体とする陶磁器類出土		



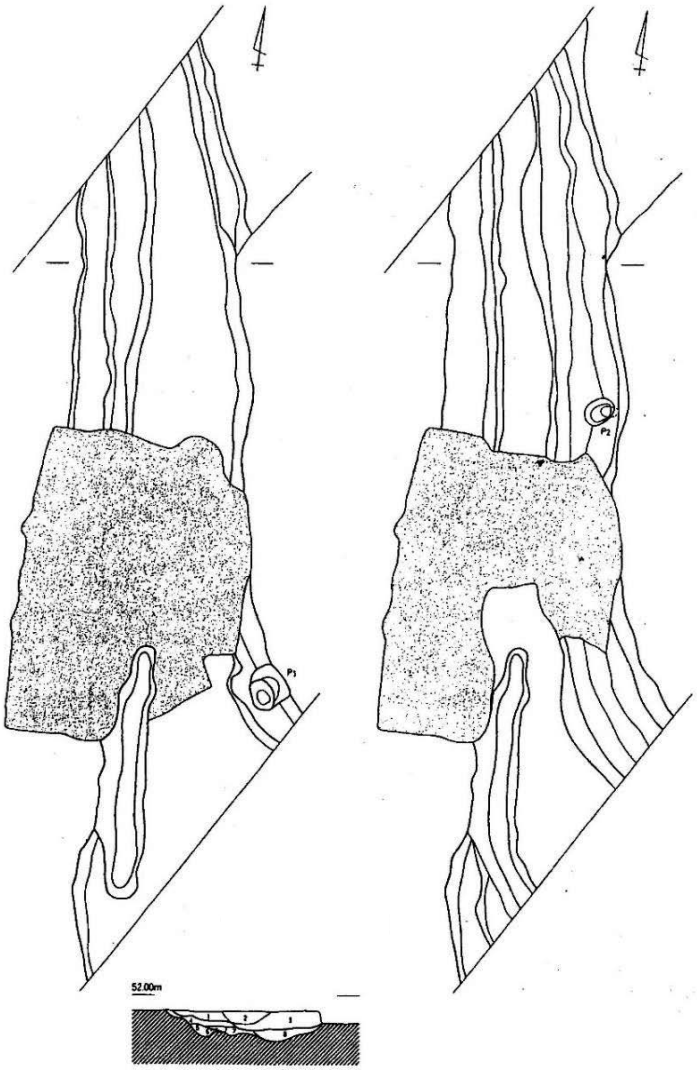
縮 尺	（平面図）1/250、（断面図）1/60

資料No.	132	遺跡名	小南（№28）
所在地	秦野市南矢名字小南上		
遺構名	Ｋ１号道状遺構		
道 幅	第１硬化面 0.43～2.53ｍ・第２硬化面0.82～2.0ｍ		
年 代	近世		
備 考	検出長7.1ｍ、硬化面は2枚		



縮 尺	（平面図）1/80、（断面図）1/80

資料No.	133	遺跡名	小南（№28）
所在地	秦野市南矢名字小南上		
遺構名	Ｋ２号道状遺構		
道 幅	第１硬化面 ・第２硬化面共に2.2m		
年 代	18世紀代		
備 考			



縮 尺	（平面図）1/100、（断面図）1/100